

Course number		U-LAS02 10011 LJ36					
Course title (and course title in English)		漢文学Ⅰ The Chinese Classics I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Research in Humanities Professor, YAGI TAKESHI
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>漢文を基礎から本格的に学習するための教材として、朝鮮王朝時代に編纂された『龍飛御天歌』を読む。</p> <p>『龍飛御天歌』は中国・朝鮮における歴代帝王の功績を讃えた頌歌。ハングルの「歌」と漢文の「詩」とから成り、その内容を説明するための「註解」と「音訓」を付す。授業で取り上げるのは主として註解と音訓。朝鮮典籍といってもハングルではなく、純然たる漢文体の著作であるのでご安心いただきたい。</p> <p>註解の内容は、基本的には有名な司馬光『資治通鑑』のダイジェスト版である。しかしこれには先行する元の胡三省の註、その他を踏まえて独自に小註（音訓）が付されているので、これらの小註についてもなるべく丁寧に読み進めていきたい。</p> <p>テキストの本文には句読が付されており、要所要所には漢字の声調（四声）を示す記号（圈発）が付されている。さらに小註では漢字の発音（反切）が示されるとともに、読解に際して間違いやすいところ、注意すべきところ、および人名・職官・地理などに関する基本情報が、実に丁寧に説明されている。この小註を通して漢文の基礎、延いては歴史書の読み方についても学んでほしい。</p>							
[Course objectives]							
<p>1) 高等学校で学んだ漢文訓読の知識を基礎として、我が国の伝統文化を支えてきた漢文の読解能力に磨きをかける。</p> <p>2) さらに「白文」による学習に取り組み、訓点に頼らずとも漢文の史料が読めるようになる。</p> <p>3) 漢文史料の詳細な読解を通して、中国・朝鮮の躍動感あふれる歴史記述を独力で読み進めることができるようになる。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>第1週に『龍飛御天歌』の概略を説明し、第2週以降は講読形式によりテキストの読解を進める。全125章のうち、当面、第41章（唐太宗）から読み進める予定である。前半は講師が講読を主導し、後半は受講生が講読を分担する。進度は受講生の取り組み次第であるが、おおむね1回につきテキスト2葉分（A4打ち出しプリント1ページ分）を予定している。なお、第8週には中間考査（小テスト）を行う。</p> <p>第1週 『龍飛御天歌』解説 第2週 『龍飛御天歌』講読 1</p>							
<div>Continue to 漢文学Ⅰ(2)</div>							

## 漢文学Ⅰ(2)

第3週 『龍飛御天歌』講読 2  
第4週 『龍飛御天歌』講読 3  
第5週 『龍飛御天歌』講読 4  
第6週 『龍飛御天歌』講読 5  
第7週 『龍飛御天歌』講読 6  
第8週 中間考査/解説と復習  
第9週 『龍飛御天歌』講読 7  
第10週 『龍飛御天歌』講読 8  
第11週 『龍飛御天歌』講読 9  
第12週 『龍飛御天歌』講読 10  
第13週 『龍飛御天歌』講読 11  
第14週 『龍飛御天歌』講読 12  
《期末試験》  
第16週 フィードバック

### [Course requirements]

高等学校における漢文の教科の基本的な知識を身に着けていることが望ましい。

### [Evaluation methods and policy]

- (1) 75パーセント以上の出席を要求する。  
(2) 出席要件を満たす者について、中間考査(100点)と期末試験(100点)の合計得点を100点満点に換算して成績評価を行う。  
(3) 中間考査・期末試験では、講読したテキストの範囲内において、漢文の句法、書き下し、並びに現代語による解釈等について出題する。

### [Textbooks]

プリントを配布する(『龍飛御天歌』影印本、およびテキストの打ち出しプリント)。

### [References, etc.]

(References, etc.)

西田太一郎 『漢文の語法』(角川ソフィア文庫, 2023) ISBN:9784044006341 (授業では直接取り上げないが、関連書籍として推薦する。)

吉川幸次郎 『漢文の話』(筑摩書房) ISBN:9784480090270 (授業では直接取り上げないが、関連書籍として推薦する。)

前野直彬 『漢文入門』(筑摩書房) ISBN:9784480097095 (授業では直接取り上げないが、関連書籍として推薦する。)

(Related URL)

<http://www.library.pref.osaka.jp/site/oec/index.html>(大阪府立図書館「おおさかeコレクション」では、『龍飛御天歌(順治本)』の全文画像が閲覧できる。適宜、参照していただきたい。)

### [Study outside of class (preparation and review)]

角川書店『新字源』、またはそれと同水準の漢和辞典(書籍版、もしくは電子版)を常に手元において学習すること。また、漢和辞典の附録(特に助字や句法の解説)についても通読しておくこと。

### [Other information (office hours, etc.)]

受講生による講読(発表)の機会を確保するために、受講登録人数は25名までに制限する(人数が超過する場合は抽籤)

Continue to 漢文学Ⅰ(3)

## 漢文学Ⅰ(3)

漢文の修得に王道はない。この授業を通して助字の用法、および漢文の句法に習熟し、独力で「白文」が読めるようになることを期待したい。